

平成29年度 新聞記事等一覧 (11月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等
1	11月1日	福井県警察本部ホームページ	WEB	FOCUS 交通事故警報情報!!	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映 工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏教授
2	11月1日	月刊「クリーンエネルギー」11月号	雑誌	テクニカルレポート	非食用バイオマスを原料とする機能性材料の開発 非食用廃棄物カシューナッツの殻より得られるカシューオイルを原料として、環境や人体に有害な化合物を使用しない室温成形可能な環境調和型のグリーンプラスチックを開発した。開発した材料は耐熱性や耐薬品性、抗菌特性を有しており、今後、機能性材料への応用に期待される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
3	11月1日	Gasgoo	WEB	焦点自動駕駛學院派“長老”	李克強教授は智能駕駛圈内出役率較高的專家之一。 他于1985年本科畢業于清華大學汽車工程學系，隨後又在重慶大學汽車工程學系取得了碩士和博士學位。1988年碩士畢業後，李克強教授在重慶大學汽車工程學系留校任教，並在隨後又赴日本東京農工大學、日本國立交通安全與環境研究所、德國亞琛工業大學、日本東京大學訪問學者。 ※中國語記事，自動駕駛に関する記事で紹介されるLi Keqiang氏が、かつて本学客員研究員であったことが紹介される。 元客員研究員 李克強さん
4	11月2日	日経産業新聞	18面	遺伝資源 利用しやすく利益を公平分配「名古屋議定書」、日本でも	環境省 自然環境局 中原一成氏のプロフィールで、本学農卒業であることが紹介される。 卒業生 中原一成さん
5	11月2日	環境展望台	WEB	東京農工大とメルボルン大、ハイブリッドCO2分離膜材料の実ガス耐性を確認	東京農工大とオーストラリア州メルボルン大学は、火力発電所から発生する燃焼排ガスや天然ガスに耐性の高い「CO2分離膜材料」を開発したことが紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
6	11月3日	日刊工業新聞	WEB	東京農工大、早期がん診断法開発 微量RNAで肺がん検出	東京農工大大学院工学研究院の川野竜司テニュアトラック特任准教授らが、がんから分泌される短いRNA(リボ核酸)「マイクロRNA」を活用した早期がん診断法を開発したことが紹介される。 工学研究院 川野竜司テニュアトラック特任准教授
7	11月3日	日刊工業新聞	19面	東京農工大、早期がん診断法開発 微量RNAで肺がん検出	東京農工大大学院工学研究院の川野竜司テニュアトラック特任准教授らが、がんから分泌される短いRNA(リボ核酸)「マイクロRNA」を活用した早期がん診断法を開発したことが紹介される。 工学研究院 川野竜司テニュアトラック特任准教授
8	11月3日	日本経済新聞	17面	AI研究、世界で競争	人工知能研究の論文で引用が多機関別順位を表で、570位に本学が掲載される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
9	11月4日	TBS	TV	EARTH Lab	本学、兼橋真二助教の研究が紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
10	11月4日	環境金融研究機構	WEB	日豪の研究者が、石炭火力等から排出されるCO2を回収・貯留するCCS技術を効率化するハイブリッド分離膜材料を開発 (RIEF)	燃焼排ガス中に不純成分を選択的に分離回収できるハイブリッド分離膜材料を、東京農工大大学院工学府応用化学専攻の兼橋真二特任助教と、オーストラリア州メルボルン大学化学工学科のSandra Kentish教授が共同開発したことが紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
11	11月5日	The Asahi Shinbun Globe	3面	相互連関する世界 ハワイ・米国アジアから押し寄せるプラスチックごみ	国連海洋会議の分科会で基調講演した本学高田秀重教授が、有害物質を含むプラスチックを摂取した魚介類を人が食べることによる将来のリスクの上昇に警鐘を鳴らしたことが紹介される。 農学研究院 高田秀重教授
12	11月6日	静岡県警ホームページ	WEB	動画で事故防止 右折時、歩行者確認を	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映 工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏教授
13	11月6日	静岡新聞	夕刊社会面	動画で事故防止 右折時、歩行者確認を	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映 工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏教授
14	11月7日	福井新聞	面	深まる秋 薄暮時に注意	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映 工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏教授
15	11月7日	静岡放送	TV	イブアイすおか	東京農工大学のスマートモビリティ研究拠点が提供した映像資料が放映 工学研究院スマートモビリティ研究拠点 毛利宏教授
16	11月7日	毎日新聞	WEB	高田守先生の生き物語り	胎児のためにできること 卒業生 高田守さん
17	11月7日	マイナビニュース	WEB	農工大、ロボットが人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発	東京農工大大学院先端機械システム部門のベンチャー・ジェンチャン准教授らが、ロボットの動作の中に感情を表す動きを加え、人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発したことが紹介される。 工学研究院 ベンチャー・ジェンチャン准教授
18	11月7日	infoseekニュース	WEB	農工大、ロボットが人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発	東京農工大大学院先端機械システム部門のベンチャー・ジェンチャン准教授らが、ロボットの動作の中に感情を表す動きを加え、人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発したことが紹介される。 工学研究院 ベンチャー・ジェンチャン准教授
19	11月7日	exciteニュース	WEB	農工大、ロボットが人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発	東京農工大大学院先端機械システム部門のベンチャー・ジェンチャン准教授らが、ロボットの動作の中に感情を表す動きを加え、人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発したことが紹介される。 工学研究院 ベンチャー・ジェンチャン准教授
20	11月7日	gooニュース	WEB	農工大、ロボットが人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発	東京農工大大学院先端機械システム部門のベンチャー・ジェンチャン准教授らが、ロボットの動作の中に感情を表す動きを加え、人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発したことが紹介される。 工学研究院 ベンチャー・ジェンチャン准教授
21	11月7日	財経新聞	WEB	東京農工大、ロボットが人間に感情を伝えるための制御方法を開発	東京農工大大学院先端機械システム部門のベンチャー・ジェンチャン准教授らが、ロボットの動作の中に感情を表す動きを加え、人間に感情を伝えるための新しい運動制御方法を開発したことが紹介される。 工学研究院 ベンチャー・ジェンチャン准教授
22	11月8日	東京新聞	15面	笑いを楽しむ	大学対抗大喜利選手権 今週のお題は「美術館」と掛けて… 東京農工大落語研究会 朝倉祐也(工学部1年) 宇多真吾(農学部3年) 平塚豪(工学部3年)
23	11月9日	日刊工業新聞	11面	助成テーマ決定 天田財団今年度前期	【国際会議等参加助成(レーザー・プロセス)】 東京農工大大学院宮地悟代准教授「LBMP-XII in SPIE Photonics West 2018」 工学研究院 宮地悟代准教授
24	11月10日	東京新聞	WEB	シカの角今年度 苗木を守ろう 箱根山「何もしないと丹沢のように」	山盛の会は三年前から、丹沢大山学術調査団の副団長を務めたシカの専門家、元東京農工大助教授の古林賢恒(けんこう)さん(75)と互回近現地を調査したことが紹介される。 古林賢恒元助教
25	11月10日	ナノテクノ	WEB	地球温室効果ガスである二酸化炭素を分離回収できる有用なハイブリッド分離膜材料を開発 ~分離性能におよぼす実ガスに含まれる不純物の影響を解明~	東京農工大は2017年11月2日、同大学院工学府応用化学専攻兼橋真二特任助教とオーストラリアメルボルン大学化学工学科のSandra Kentish教授らが、世界的な環境問題である地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を選択的に分離回収できるハイブリッド分離膜材料を開発したと発表したことが紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
26	11月11日	The Mainichi	WEB	Conservation society introduces unique method to curb ballooning deer population	Response to damage done by deer is often too late, and the measures come with an enormous price tag," said professor Koichi Kajii of the Graduate School of Tokyo University of Agriculture and Technology. 農学研究院 権光一教授
27	11月12日	毎日新聞	16面	米離脱で効果目減り TPP「大筋合意」	日本の農業に大きな脅威 東京農工大名誉教授(農業経済学) 権井功氏 権井功名誉教授
28	11月14日	paultan.org	WEB	UMW Toyota donates Camry Hybrid to MJIT, UTM	The research also has close collaboration with Smart Mobility Research Center, Tokyo University of Agriculture and Technology. 工学研究院スマートモビリティ研究拠点
29	11月20日	AZOMaterials	WEB	Assessment of Unique Hybrid Membranes for Carbon Capture	The researchers have explored the resilience of hybrid mixed matrix membranes in the presence of these impurities. 兼橋真二特任助教らの二酸化炭素を分離回収できる有用なハイブリッド分離膜材料を開発した研究が紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
30	11月20日	ChemEurop.com	WEB	Evaluation of novel hybrid membranes for carbon capture	Hybrid membranes composed of a polyimide combined with porous nanoparticles including carbons, metal organic frameworks and a porous organic polymer have been evaluated. Copyright © 2017 'Tokyo University of Agriculture and Technology' and 'The University of Melbourne' 兼橋真二特任助教らの二酸化炭素を分離回収できる有用なハイブリッド分離膜材料を開発した研究が紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
31	11月20日	みんなの大学	雑誌	学食なんでもNo.1 部門別ランキング	「思わす集めたる！ 本学オリジナルグッズ」に、本学のアイスクリー 喫茶オリザ 農工夢市場
32	11月22日	Asian Scientist	WEB	Material Choice Key To Effective Carbon Capture	A team of researchers in Japan and Australia evaluated the performance of hybrid mixed matrix membranes used to capture carbon dioxide (CO2) under realistic conditions of complex industrial gas streams. 兼橋真二特任助教らの二酸化炭素を分離回収できる有用なハイブリッド分離膜材料を開発した研究が紹介される。 工学研究院 兼橋真二特任助教
33	11月	健康都市デザイン	雑誌	編集長インタビュー	兼橋真二特任助教が、生体材料の脱炭素化について、健康から運動や卵巣膜の健康効果について、解説コメントを行ったことが紹介される。 工学研究院 跡見順子教授
34	11月15日	月刊ファインケミカル	雑誌	R&D欄「植物由来の環境調和型グリーンプラスチックの開発」	兼橋真二特任助教が、カシューナッツの殻から作るグリーンプラスチックについて解説。 工学研究院 兼橋真二特任助教

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	記事(番組)関係者等	
35	11月21日	朝日新聞	27面	診察室から	山根義久さん(倉吉動物医療センター会長)	山根義久名誉教授
36	11月21日	The Japan Times	WEB	Is Tokyo the cause of 'provincial extinction'?	Takumi Fujinami(an advanced senior economist at the Japan Research Institute) After finishing his master's course at Tokyo University of Agriculture and Technology's graduate school of agriculture, Takumi Fujinami joined the Sakura Institute of Research (now the Japan Research Institute) in 1999.	Takumi Fujinamiさん